



横浜市立永田台小学校

学校だより

5月号 令和8年5月1日 NO.603



「任される」ということ

校長 西 かおり

「おはようございます。校長先生、みてみて、こんなにいたよ。」と、嬉しそうに見せてくれた4年生。手にしていたのは、いつもはコンパスが入っているケース。その中にはコンパスではなく、真ん丸なダンゴムシが入っていました。またあるときは、昇降口の前でじっと座り込んでいる2年生。「どうしたの。」と、声をかけると「お散歩見てる。」との返事がありました。アリの様子をじっと眺めているのでした。たくさん生き物と出会える季節に子どもたちの目はきらきらしています。そして、天気の良い日には、運動場で駆けまわったり芝生のところで側転をしたりと元気いっぱい永田台の子どもたち。さすがに4月下旬には疲れている様子も見られましたが、「今日はカレーだから頑張ろう。」という声が聞こえるほど給食をもりもり食べてエネルギーを蓄え、乗り切っていました。

さて、先日、校長室に委員会活動の委員長になった児童が集まり「任命式」を行いました。任命された委員長が一人ひとり意気込みを言っていくのですが、その言葉には、「みんなが楽しく過ごせる永田台小学校になるといいな。」「みんなのために自分にできることを一生懸命やっていきたい。」という熱い思いが感じられました。中には「校長先生の期待に応えられるように頑張ります！」と宣言してくれた児童もおり、頼もしく感じました。委員長に任命された子どもたちには、「委員長は、一人だけで頑張ろうとしてはいけません。でも、みんなよりちょっと先に何をするか考えたり、ちょっと多くアイデアをもとうとしたりしてみんなをリードするように頑張ってください。」ということをお伝えしました。少し負荷をかける言葉かけだったかもしれませんが、成長を期待しての言葉でした。「仕事を任される」ということはいろいろな成長効果があるとされています。スキルと知識の向上、主体性の向上、信頼の獲得、自己肯定感の向上、モチベーションとやりがいの充足、時間や約束を守るようになっていくことで繋がる次へのチャンスなど。子どもたちは成長効果を求めて仕事を引き受けたり立候補したりすることはありません。動機は「誰かのために自分にできることをしたい」「リーダーになってみんなを引っ張っていきたい」という思いだと思います。その思いを成長に変えていくのは、周りのかかわりなのではないかと思っています。どの学年でも、係のリーダーになったり班のリーダーや実行委員長になったりすることがあると思います。5月の連休明けからいろいろな活動が活発になる中で、活動や友達との関係がうまくいかないこともあるかもしれません。大人でも「仕事を任される」と、意欲が増すと同時に不安もかかえます。そんなときには、ぜひ経験豊富な保護者の皆様からアドバイスをしていただけたいと思います。きっと、社会に出たときに生きて働く力の一つになっていくのではないかと思います。学校と保護者、地域の皆様とで子どもたちを支え励ましていけたらと考えています。

引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

